

ちづ

Chizu Town
智頭町勢要覧

資料1-1①



みどりの風が吹く疎開のまち **ちづ**

—智頭町勢要覧—

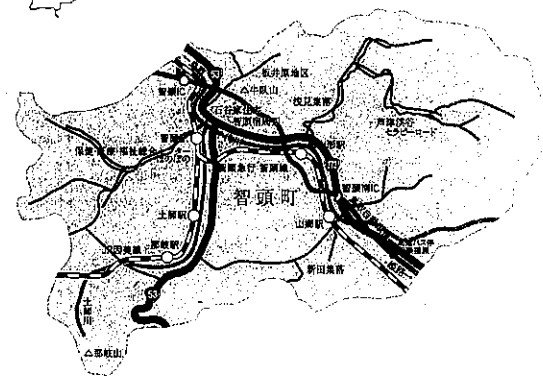
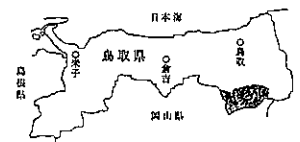
企画・編集

智頭町役場 企画課

〒689-1402 鳥取県八頭郡智頭町大字智頭2072番地1

TEL.0858-75-4111 FAX.0858-75-1193

URL <http://www1.town.chizu.tottori.jp/>



智頭町へのアクセス

JR	大阪(智頭急行)⇒約2時間	自動車	大阪(関西自動車道)⇒約2時間30分
	京都(智頭急行)⇒約2時間30分		岡山(R53)⇒約2時間10分
	岡山(智頭急行)⇒約1時間20分		鳥取(R53-阿保IC)⇒約40分
	鳥取(JR東海線)⇒約30分		
バス	東京(キヤメル号)⇒約9時間30分	飛行機	東京-鳥取⇒約1時間10分
	大阪(02特急バス)⇒約2時間25分		
	鳥取(日ノ丸バス)⇒約50分		



四季映える 原風景に 抱かれて

淡く濃くうつろう山々、
その山の緑を乗せて吹く風
輝かせせらぎ、満天の星空。、
大きく豊かな智頭の自然は
私たちをまるごと受け容れ、
深い安らぎを与えてくれます。

自然の囁きが
こたえます
疎開の地

鳥取県の東南に位置
する智頭町は総面積の
九割以上を山林が占め、
1000m級の中国山脈
の山々に囲まれていま
す。国定公園那岐山から
は、西に大山、北に鳥取
砂丘という絶景が望め
日々表情を変えながら
町を見守る牛臥山、紅
葉も鮮やかな芦津溪谷
など、歩いてもドライブ
でも四季折々の素晴ら
しさを満喫できます。

あまのこ杉

芦津溪谷

人と自然との新しい関わり方
【森林セラピー】への取り組み

森の癒し効果は、科学的
に実証されています。智頭
町では豊かな森林資源を
活かして、単なる森林浴では
なく専門のセラピストと併し、よ
り効果の高い森林セラピー
を完結し、心も体も元気になる
森の里をめざしています。

牛臥山

那岐山





ちづの語り
ひと

大きく広がる 笑顔の輪

一人ひとりが智頭の大切な宝物。
すくすくと子どもが育つ。
年を重ねて一層輝きを増す。
「誰もが主役として暮らせること」
それが智頭の元気の源です。

智頭は、子どもの 遊びと学びの 宝庫です



森のようちえん
まるたんぼう代表
西村 早栄子 さんに聞く

「行つてきまーすー」
と、元気のよい声。大
きなリックサククを
背負った子どもたち、
保育士のお兄さんに
ついて西村さん宅を
出発です。

「森のようちえん」を
提案し、「森のようち
えんを作る会」を立ち
上げ、試遊期間を経て
平成二十一年に正式
に開園しました。

「ここでは、ああしな
さいとか、これはダメ
とか、そんな指示や
禁止は一切しません。
子どもたちは森で、
どんどん遊びを見つ
けます。大自然の中
で自主性や協調性が
磨かれ、感性も本当
に素晴らしいです。」
と西村さん。

「智頭には豊かな森
があり、また近所の
人々も子どもたちを
見守ってくれる。こ
こで育つ子どもたち
が将来どんな大人に
なっていくのか、楽し
みで仕方ないです。」
いさぎ、語り西村
さんの笑顔は、
夢と期待に
あふれて
います。

「行つてきまーすー」
と、元気のよい声。大
きなリックサククを
背負った子どもたち、
保育士のお兄さんに
ついて西村さん宅を
出発です。

「森のようちえん」を
提案し、「森のようち
えんを作る会」を立ち
上げ、試遊期間を経て
平成二十一年に正式
に開園しました。

「ここでは、ああしな
さいとか、これはダメ
とか、そんな指示や
禁止は一切しません。
子どもたちは森で、
どんどん遊びを見つ
けます。大自然の中
で自主性や協調性が
磨かれ、感性も本当
に素晴らしいです。」
と西村さん。

「智頭には豊かな森
があり、また近所の
人々も子どもたちを
見守ってくれる。こ
こで育つ子どもたち
が将来どんな大人に
なっていくのか、楽し
みで仕方ないです。」
いさぎ、語り西村
さんの笑顔は、
夢と期待に
あふれて
います。

世代を超えて 村をひとつにする 「村の便利屋さん」



日本1/0村おこし運動
浅見集落代表
春摘 要さん さんに聞く

町内の多くの集落
が1/0(ゼロイチ)運
動に取り組み中、その
最後発として参加した
浅見集落。はじめは運
動の煩わしさを懸念す
る声もありましたが、
いまや村に欠かせない
存在となっています。

「私は転勤族を脱し
て地元帰ったのです
が、職場と自宅との
往復だけ。マ子にいた
頃と変わらないなあ、
と感じていました」と
浅見集落振興協議会
会長の春摘要さん。
しかし若い世代で度
意見をぶつけあつたの
を機に、「世代を超え
て村が和を持ってよ
うに」と、ゼロイチの
参加を検討。連日連
夜の協議の末、上の世
代の人たちにも合意
を得られました。

「拠点として手作りで
ログハウスを建て、ま
ろは若狭露目も兼ねて
定例会を開いたのですが

ほぼ全戸から人が集
まりました」と嬉し
そうに振り返る春摘
さん。その後、納涼祭
を企画したり、絶え
ていたイベントである
「一歩とりを復活させ
たりしました。

「テーマは、の笑顔。
隣りも、子どもたち
や県外の方など多く
の人に喜んでいただ
いています。

さらに浅見のゼロイ
チは、敬老会や村祭り
などの準備を村から
請け負ったりと、村の
「便利屋」して活動を
展開。「世代間の交流
も生まれ、それまで絵
事や会合でしか集ま
らなかった人が、そ
れ以外の楽しさなど
も集うようになった。
高齢者は、村の将来に
希望を持ってくれて
いるように」と語る
春摘さん。つと浅見
が元気になる仕掛けを
温めて、いるようです。



「日本1/0村おこし運動」は、町内の多くの集落が参加している。町内では、1/0(ゼロイチ)運動が盛況で、多くの集落が参加している。町内では、1/0(ゼロイチ)運動が盛況で、多くの集落が参加している。町内では、1/0(ゼロイチ)運動が盛況で、多くの集落が参加している。



「行つてきまーすー」
と、元気のよい声。大
きなリックサククを
背負った子どもたち、
保育士のお兄さんに
ついて西村さん宅を
出発です。

「森のようちえん」を
提案し、「森のようち
えんを作る会」を立ち
上げ、試遊期間を経て
平成二十一年に正式
に開園しました。

「ここでは、ああしな
さいとか、これはダメ
とか、そんな指示や
禁止は一切しません。
子どもたちは森で、
どんどん遊びを見つ
けます。大自然の中
で自主性や協調性が
磨かれ、感性も本当
に素晴らしいです。」
と西村さん。

「智頭には豊かな森
があり、また近所の
人々も子どもたちを
見守ってくれる。こ
こで育つ子どもたち
が将来どんな大人に
なっていくのか、楽し
みで仕方ないです。」
いさぎ、語り西村
さんの笑顔は、
夢と期待に
あふれて
います。

人の中で、自然の中で、
自分の存在を実感します

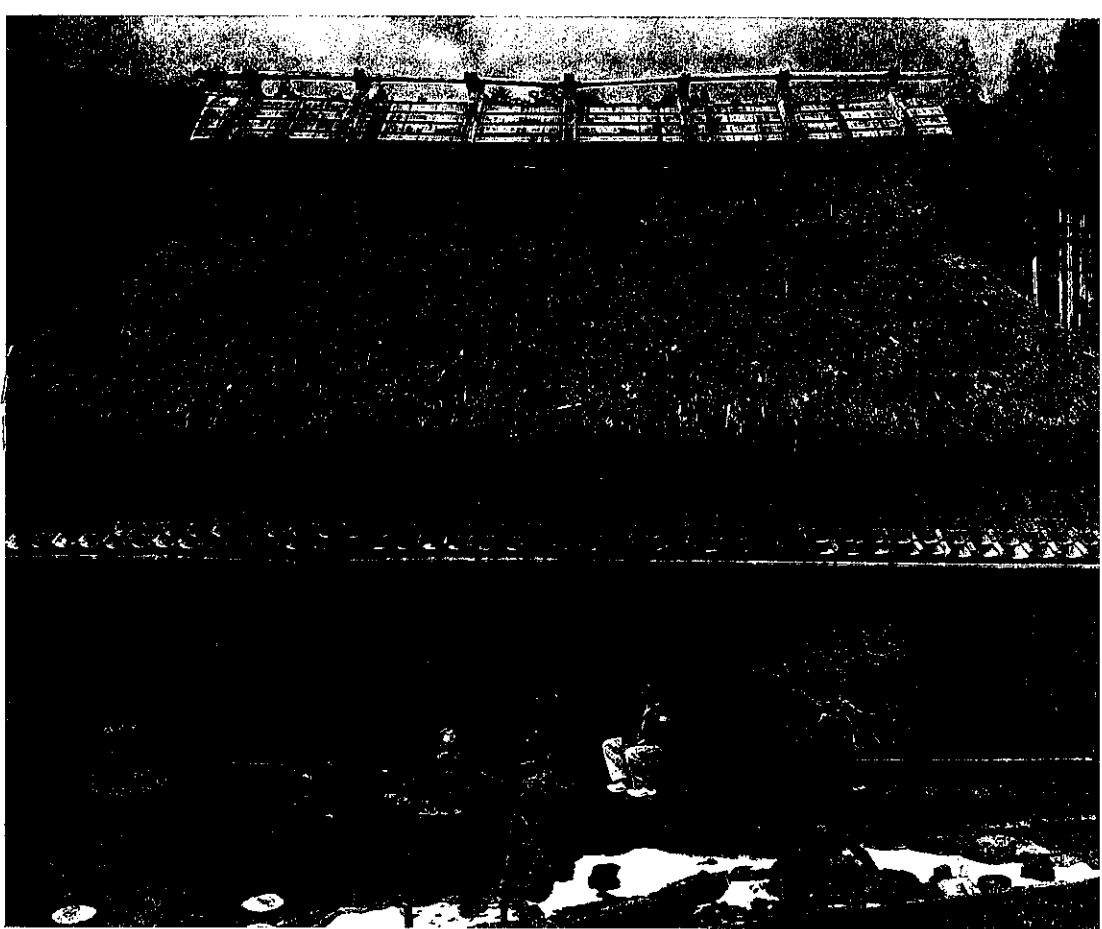


大阪府出身
津田英樹さん

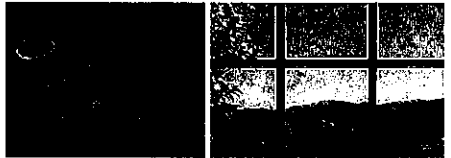
私らしく、私の暮らし—
ここに出会えて良かった



兵庫県出身
澤田直見さん



板間には囲炉裏土間に暖炉とテーブル。津田英樹さんが暮らす新田地区の落ち着いた民家は、一度入ってしまうとわが家のようにくつろいでしまいます。「昔の家で、そういうリズムでできてると、もう、初めて来るのに、懐かしい。ついで、おっしゃる方もありますよ」と津田さん。何かと人が集まりやすく、深夜まで飲む事もしばしば。ここでは時間がゆつくり流れます。



「智頭は四季がはっきりしていて、窓から眺める山は毎日色が変わります。この広い空間、家も、空も山も全部まるごと自分の周りにある。とても贅沢に感じます。」津田さんは現在、大阪時代の実績を活かし福祉の仕事をしていますが、仕事でも暮らしても、自分の存在の感じ方が以前と違うそうです。



人が少ない分一人ひとりの存在感がとても大きいのです。私も村の構成員ですから、果たすべき義務はたくさんあります。自分も地域の「買手」という自負を持って、村の人のさりげない支えを毎日感じて生活できる。都会にはない充実感を感じます。」

営業時間は「日暮れ頃まで」というのが、とされたカラエぼすと。オーナーの澤田直見さんは、関西からのインターン定住者です。「私としては別に特別な事ではなく、ただ仕事を引継いでお引越して来ただけなので、すけど」と微笑む澤田さん。



「智頭へはあまり深く考えずに憧れだけで飛び込んだのですが、その憧れは全く裏切られていません。」



「私としては別に特別な事ではなく、ただ仕事を引継いでお引越して来ただけなので、すけど」と微笑む澤田さん。「智頭へはあまり深く考えずに憧れだけで飛び込んだのですが、その憧れは全く裏切られていません。」

実り豊かな
里山暮らし



ちづの詩り
広がる田畑と温かな人びと。
心の底に求める「故郷」がここにあります。
みんな、みんな智頭へ帰ろう。
ほら、「おかえりなさい」が聞こえる—。




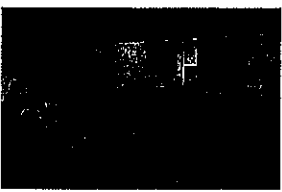

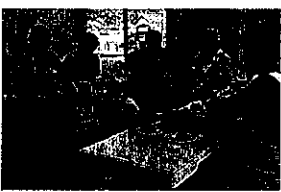






めざす保健・医療福祉の連携
住み慣れた土地で
安心して暮らすために



保健・医療・福祉総合センター ほのぼの

健康の保持と増進、疾病の予防、治療とリハビリ、各種の福祉サービス。を包括的に提供するため、保健センター・病院・社会福祉協議会が一体となった総合施設です。また、だれもがいつでも利用できる、町民の交流拠点としての機能も備えています。

 <p>社会福祉協議会</p>  <p>智頭デイサービスセンター</p> <p>特別養護老人ホーム「心和苑」、デイサービスセンターの運営のほか、在宅介護を支える訪問介護や訪問入浴介護などのサービス、介護計画を作成する居宅介護支援を行っています。</p>	 <p>智頭病院</p>  <p>智頭病院ロビー</p> <p>一般検査から救急医療まで、迅速な対応で安心の医療を提供します。また、「ほのぼの」の中核を担う施設として、健康指導やケア、訪問看護など在宅療養にも力を入れています。</p>	 <p>保健センター</p>  <p>保健センター介護指導室</p> <p>健康づくり推進室では、母子保健、お母さんのための子育て支援、感染症予防、生活習慣病予防や健康増進、精神保健など町民の健康保持・増進に取り組んでいます。</p>
--	---	--

 <p>「在宅チーム」スタッフ</p>	 <p>デイサービス</p>  <p>訪問入浴介護</p>	 <p>「在宅チーム」カンファレンス</p> <p>必要な機関が同じ施設内にある。これが「ほのぼの」の一番大きな強みです。在宅サービスを実施する利用者について、医師や看護師、薬剤師、栄養士、保健師、ケアマネジャー、介護士など各機関のスタッフが構成された「在宅チーム」が即座に連絡を取り合い、多くのケアマネジャーの中から、その方にとって最良の対応方法を探り検討します。</p>	<p>充実した在宅医療、福祉サービス</p>
--	---	--	------------------------



ちよの誇り
福祉

共に活き活き
生涯現役

生まれ育った土地で心地よく
 生涯生活できるのはとても幸せなことです。
 その実現のため保健・医療・福祉を中心に
 子どもからお年寄りまで、一人ひとりの
 健全な暮らしをサポートします。



石谷家住宅

受け継がれる まちの宝



当時の風情をとどめる宿場町
大切に受け継がれる祭りや行事。
古いものも新しいものも
智頭の文化は人びとの「こころ」を
豊かに潤してくれます。

地域の温もり あふれる特産品

智頭の豊かな環境に育まれる杉を用いた木工品やじゅうたんなど、また清らかな風土を活かして作られる「脈動酒造の銘酒 脈動泉や「取敢下房ちぶる」の製菓食品など、ふるさとの薫りがたたく名産特産品が多数あります。



●石谷家住宅

時代を物語る
歴史的建造物

鳥取藩最大の宿場町として栄えた智頭宿に威容を誇る石谷家住宅。敷地面積約二〇〇〇坪に、広大な日本庭園、四〇の部屋と七極の蔵をもつこの建物は、貴族院議員であった石谷伝四郎が大正八年から約一〇年の歳月をかけて新築したもので、国重要文化財となっています。



石谷家住宅

石谷家は屋号を塩屋といい、元禄時代の初めに鳥取城下から移り住んで本拠を構え、分家をおこし繁栄しました。江戸後期には「大庄屋」に任ぜられたほか、地主経営や宿場問屋を営み、その後も地場産物の振興を図るなど明治、大正と近世・近代を通じて町の発展に尽くしました。

古き良き、先人の 暮らしを映す―― ●板井原

まちの中心より約五キロほど離れた板井原集落。山々に囲まれたこの山間地は、平家落人の隠れ里として伝えられてきました。村は伝統的な焼畑、炭焼き、水田稲作や葛、麻などの林産物、また近代になってからは養蚕を主産業として栄えました。村内に現存する茅葺き住宅などの建造物からは、農山村文化の形成過程が見て取れ、貴重な歴史的な文化財として今に受け継がれています。



平成十六年 板井原の建造物保存地区 遊元



人々の想いが込められた 新田の相生文楽人形浄瑠璃

「高尚な娯楽を通して健全な村をつくりたい」新田村の青年・岡田大平治の志により明治7年、新田の人形浄瑠璃は生まれました。一齣を結成し巡業によって技を高め、さらに人形造いの泉谷錦枝や人間国宝・桐竹敏十郎の指導のもと、芸は磨かれていきました。名声と共に豊かな人間性をも高めたこの伝統芸能は今なお、地域に潤い続ける貴重な文化遺産です。

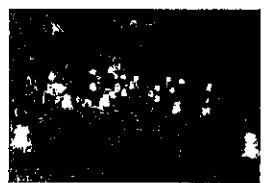


素朴な佇まいの中に 荘厳な気風が漂う豊乗寺

平安期の嘉祥年間(845～851)に、弘法大師の高弟・真雅僧正によって開かれた豊乗寺。天正の兵火により焼失しましたが、かつては僧坊が6坊、さらに複数の末寺があったことから、盛大な勢力を保持した時代の栄華を窺い取ることができます。また、平安仏画の代表作の一つといわれる国宝「粗本着色普賢菩薩像」など多くの文化財を有する寺として知られています。



虫井神社の奉納行事 麒麟獅子舞



雷景色に灯火映える 智頭宿雷まつり



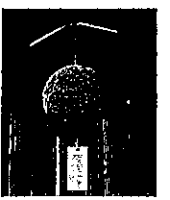
ちぶるー



脈動泉



どうだんつづじ



杉製品(杉玉)

智^ち頭^づ

みどりの風が吹くまち

— 智頭町勢要覧・資料編 —



智頭町3つの智恵

智頭町「日本1/0村おこし運動」

2002年度「過疎地域 自立活性化優良事例 総務大臣賞」受賞

智頭町が平成9年度に制度化した「日本1/0村おこし運動」とは、閉鎖的・保守的・依存的な旧態依然とした村社会の変革を図り、また、町の活性化は集落の活性化からという視点にたつて、「これからもその集落到住もう、どうせ住むなら豊かで楽しい村がいい」を理念とするものです。そして、こんな素朴な願いを実現するため、自分には何ができるか、何に汗が流せるか、住民一人ひとりが無(ゼロ)から有(イチ)への一歩を踏み出そうという運動です。つまり、智頭町内の各集落がそれぞれの特色を一つだけ掘り起こし、外の社会に開くことによって、村の誇り(宝)づくりを推進する住民の自立と共有のマネジメントです。



■日本1/0村おこし概念図

- ① 村にある種をみつけよう!
(種がなければ新たな種を蒔きましょう!)
- ② 土づくりや水やりをしよう!
- ③ 芽が出たら大きく育てよう!
(必要があれば行政も支えます)

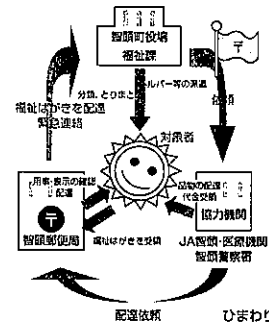


杉源境・智頭を世界一美しいまちに!

ひまわりシステム

2002年「毎日介護賞」(毎日新聞社)受賞

「ひまわりシステム」は、役場と郵便局の共同により、農協(JA)、町立病院及び開業医、警察署の協力を得て、毎日の郵便配達を通じて日用品や薬などを配達し、独り暮らしのお年寄りの生活をサポートするものです。現在(2002年4月1日)は全国221市町村、302の郵便局に広がっています。



サロン方式の川作り 親水公園

2000年「日本水大賞奨励賞」受賞

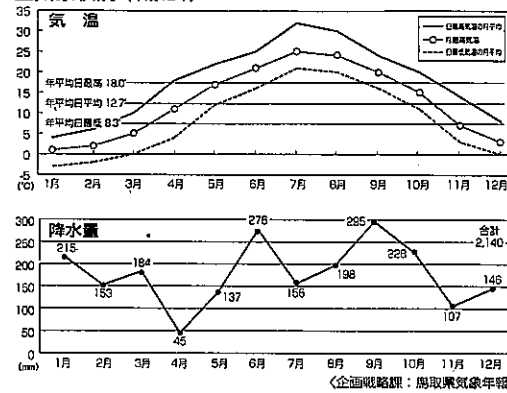
一智頭の住民運動から流域の動きへ展開一

智頭町における川づくりは、河川を中心とする環境問題に関心が高まり、「多自然型河川整備」の鳥取県版ともいふべき「しじの川整備事業」のモデルが町内河川に作られ始めたのをきっかけに進められてきました。全住民参加の川づくりを進めていく中で、それぞれの親水公園を中心に組織が結成され、1994年には「智頭町親水公園連絡協議会」、さらに1997年には「千代川流域圏会議」が発足しました。現在、河川の新しい流域の社会システムづくりの模索まで、この運動の余波は及んでいます。

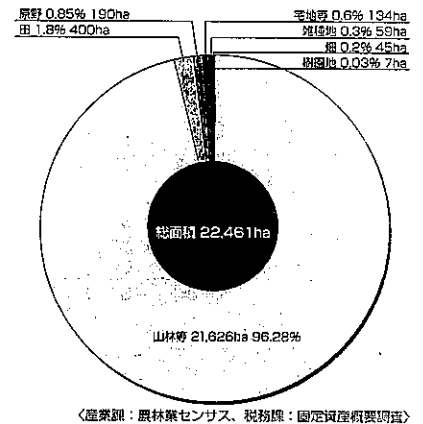
(智頭町ホームページアドレス <http://www.town.chizu.tottori.jp>)

自然・人口

■気象状況 (平成13年)



■地目別土地面積 (平成14年3月31日現在)

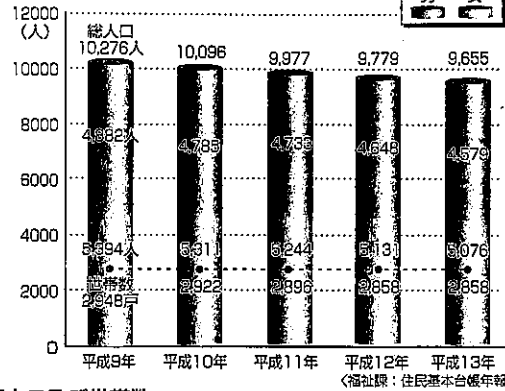


■人口及び世帯数 (平成14年4月1日現在)

区域	区分	男	女	人口	世帯数
坂井	原	11	7	18	10
坂井	市	56	63	119	34
中	島	46	53	99	26
湯	島	16	17	33	10
湯	淵	23	31	54	14
湯	下	5	2	7	6
湯	上	25	20	45	18
湯	中	11	141	252	87
湯	下	84	94	178	95
湯	上	185	259	454	155
湯	市	109	111	220	59
湯	米	31	43	74	17
湯	上	60	86	146	37
湯	沖	15	16	31	11
湯	本	12	18	30	12
湯	本	149	141	290	96
湯	河	103	106	209	68
湯	河	93	112	205	68
湯	河	138	135	273	86
湯	河	129	149	278	99
湯	特	9	39	48	48
湯	久	147	162	309	99
湯	緑	14	16	30	11
湯	上	78	85	163	51
湯	線	10	8	18	7
湯	山	13	24	37	8
湯	山	21	25	46	14
湯	山	17	19	36	14
湯	山	36	32	68	26
湯	山	1,756	2,014	3,770	1,254
湯	山	32	34	66	23
湯	山	54	64	128	29
湯	山	97	56	123	34
湯	山	73	106	179	52
湯	山	93	111	204	60
湯	山	28	32	60	15
湯	山	24	27	51	14
湯	山	47	51	98	24
湯	山	14	20	34	11
湯	山	17	18	35	11
湯	山	35	43	78	23
湯	山	144	168	312	101
湯	山	28	28	56	23
湯	山	666	758	1,424	422
湯	山	81	72	153	36
湯	山	67	87	154	52
湯	山	58	70	128	34
湯	山	51	51	102	30
湯	山	7	9	16	7
湯	山	13	11	24	9
湯	山	32	34	66	23
湯	山	54	64	128	29
湯	山	97	56	123	34
湯	山	73	106	179	52
湯	山	93	111	204	60
湯	山	28	32	60	15
湯	山	24	27	51	14
湯	山	47	51	98	24
湯	山	14	20	34	11
湯	山	17	18	35	11
湯	山	35	43	78	23
湯	山	144	168	312	101
湯	山	28	28	56	23
湯	山	666	758	1,424	422
湯	山	81	72	153	36
湯	山	67	87	154	52
湯	山	58	70	128	34
湯	山	51	51	102	30
湯	山	7	9	16	7
湯	山	13	11	24	9
湯	山	42	42	84	29
湯	山	650	647	1,297	344
湯	山	26	37	63	16
湯	山	41	45	86	20
湯	山	59	54	113	25
湯	山	31	40	71	22
湯	山	90	91	181	55
湯	山	50	61	111	31
湯	山	55	67	122	30
湯	山	41	40	81	19
湯	山	45	50	95	21
湯	山	438	485	923	239
湯	山	53	55	108	30
湯	山	25	41	76	19
湯	山	28	33	61	19
湯	山	133	156	289	79
湯	山	85	72	157	39
湯	山	43	49	92	33
湯	山	357	405	763	219
湯	山	4,526	5,001	9,527	2,851

(福祉課:人口世帯数掲載一覽)

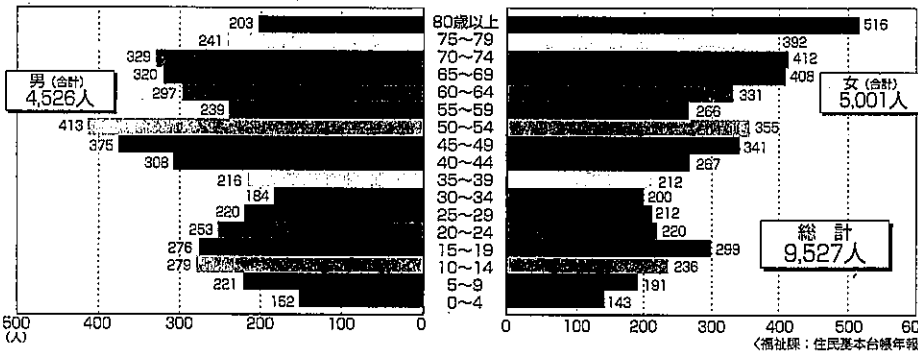
■人口の推移 (平成14年3月31日現在)



■人口及び世帯数 (平成14年3月31日現在)

年度	自然増減			社会増減			増減数計
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会的増減	
9	86	128	△42	245	294	△49	△91
10	69	123	△54	212	338	△126	△180
11	54	111	△57	216	278	△63	△119
12	62	118	△56	173	315	△142	△198
13	60	116	△56	207	275	△68	△124

■年齢別人口 (平成14年3月31日現在)



社会福祉

■国民健康保険の加入状況

年度	世帯数・人口 (9.31現在)	国民加入世帯数	被保険者数 (本人・家族・同居親族)	加入率(%) (世帯・人口)	医療件数	受診率(%)	医療費
9	2,948 10,276	1,558	3,200	53.3 31.7	24,683	771.3	431,322,970
10	2,922 10,096	1,592	3,242	55.0 32.5	27,518	848.8	469,043,515
11	2,895 9,977	1,606	3,230	56.2 33.0	27,253	843.7	493,831,989
12	2,858 9,779	1,651	3,325	57.8 34.4	27,469	826.1	475,901,035
13	2,858 9,655	1,722	3,443	60.4 36.1	27,711	804.9	483,434,266

〈福祉課：住民基本台帳年報、国民健康保険事業年報〉

■国民健康保険の給付状況

年度	区分	療養の給付	療養費	高額療養費	その他保険給付	合計
9		325,161千円	1,026千円	29,898千円	2,780千円	352,845千円
10		343,523	1,101	25,966	2,580	373,170
11		343,741	575	30,986	3,075	378,377
12		322,375	786	30,232	1,920	355,313
13		308,477	853	22,892	2,445	334,667

〈福祉課：国民健康保険事業年報〉

■国民年金の状況

区分	年度	7	8	9	10	11	12
国民年金被保険者数	強行制	1,675	1,602	1,524	1,559	1,554	1,543
	任意制	1,143	1,082	1,064	1,114	1,127	1,134
	番号	9	12	8	6	4	3
保険料免除者数	免除	523	508	452	439	423	406
	免除	192	182	193	227	254	242
	免除	80	74	75	79	85	83
老齢年金受給者数	受給者数	889	854	810	769	728	695
	受給額	399,273,300	364,374,000	365,496,900	353,950,500	337,901,400	324,497,100
通算老齢年金受給者数	受給者数	408	404	393	378	369	349
	受給額	82,412,100	81,479,000	79,935,800	79,382,000	78,157,300	74,887,800
障害年金受給者数	受給者数	35	31	29	28	26	26
	受給額	32,402,500	28,671,300	26,903,900	26,384,000	24,529,000	24,529,000
障害基礎年金受給者数	受給者数	126	122	122	132	134	133
	受給額	113,487,800	110,480,300	110,283,900	121,334,100	124,027,000	122,682,900
母子加給年金受給者数	受給者数	1	0	0	0	0	0
	受給額	1,011,500	0	0	0	0	0
遺児年金受給者数	受給者数	0	0	0	0	0	0
	受給額	0	0	0	0	0	0
遺族基礎年金受給者数	受給者数	29	34	27	29	38	36
	受給額	22,662,100	25,815,400	20,424,300	22,616,500	29,349,400	26,705,400
寡婦年金受給者数	受給者数	7	8	8	0	6	4
	受給額	3,948,200	4,308,500	4,304,900	0	3,275,300	2,126,400
老齢福祉年金受給者数	受給者数	70	54	47	37	29	25
	受給額	28,168,000	21,729,600	18,912,800	15,155,200	11,948,000	10,300,000

〈福祉課：社会保険事務所〉

■生活保護の状況 (平成14年3月末現在)

区分	年度	10	11	12	13
(生活保護を受けている)世帯数		35	33	30	32
人数		54	45	37	40
全人口に占める割合		0.538%	0.460%	0.383%	0.419%

〈福祉課〉

■献血状況 (内成分献血)

年度	実施日数	献血者数
8	13 (6)	458 (125)
9	13 (6)	457 (119)
10	13 (6)	448 (124)
11	13 (6)	479 (103)
12	13 (6)	436 (119)
13	13 (6)	425 (119)

〈福祉課、社会福祉協議会〉

■福祉施設の状況 (平成14年3月末現在)

名称	区分	建物(m ²)	定員	3歳未満児	3歳児	4歳児以上	計	職員数
諏訪保育園		1,205,785.00	150		30	103	133	17
あたご保育園		526.22	45	33			33	13
山形保育園		433.52	45	5	9	20	34	6
那岐保育園		472.52	45	1	10	22	33	6
芦津保育園		259.72	40	2	2	6	10	3
山郷保育園		431.00	30	0	5	10	15	5
本折児童館		236.40						2
久志谷児童館		238.40						2
久志谷集会所		136.40						1
ひばり荘		143.72						
本折児童館		136.40						2
ひまわり会館(老人福祉センター)		1,491.79						
心と苑(老人ホーム)		2,264.94	80					57

〈福祉課〉

交通・消防・水道

■自動車保有台数の状況

年度	普通自動車			小型自動車			軽自動車			原付二輪車		特殊車	
	四輪貨物	乗用	普通	四輪貨物	乗用	普通	四輪貨物	乗用	普通	第一種	第二種	用車	農耕用等
9	193	15	617	458	2,231	52	1,885	882	73	993	228	176	253
10	206	16	671	449	2,174	55	1,833	971	68	937	127	259	258
11	203	14	721	433	2,115	55	1,756	1,098	84	887	102	262	266
12	195	15	814	416	2,046	57	1,717	1,253	82	832	119	261	279
13	193	15	864	395	2,007	55	1,682	1,331	82	773	101	263	275

〈総務課：東部県税事務所〉

■自動車事故発生状況

年度	発生状況			前年比			管内における重傷以上の事故の占める割合	
	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数(%)	死者(%)
9	33	0	44	2	△3	△8	48.2	50.0
10	29	4	31	△4	4	△13	58.5	100.0
11	23	5	31	△6	1	0	50.0	100.0
12	20	4	26	△3	△1	△5	40.8	75.0
13	18	0	22	△2	△4	△4	39.2	33.3

〈地域開発課：警察白書〉

■町道の現況 (平成14年4月1日現在)

年度	路線数	実延長	改良・未改良別		路面別		自動車交通不能道延長
			改良	未改良	舗装道	舗装道	
9	223	78,581	41,100	37,482	11,654	66,927	14,412
10	223	78,614	43,770	34,844	10,836	67,778	14,194
11	225	78,977	44,064	34,913	10,357	68,620	14,194
12	226	79,598	44,445	35,153	10,357	69,241	14,194
13	226	79,598	44,445	35,153	10,357	69,241	14,150

〈建設課：道路施設現況調査〉

■火災発生状況

年度	原因					計	罹災場所別				損害額
	タバコ	たき火	マッチ	ストーブ	その他		建物	山林	野	その他	
9	1	1			4	6	3	1		2	2,472千円
10				2	3	5	4	1			47,232
11		2		1	3	6	4			2	5,303
12				1	4	5	3		1	1	7,245
13		1			4	5	4	1			4,872

〈総務課：八頭消防署 智頭出張所〉

■消防団の現況

区分	団員数	消防車				計
		自動車	手動車	両用車	計	
本部	6					
留頭地区団	119	1	—	8	9	
山形地区団	100	1	—	7	8	
那岐地区団	108	1	—	7	8	
土師地区団	71	1	—	3	4	
富沢地区団	74	1	—	5	6	
山郷地区団	64	1	—	5	6	
計	561	6	—	35	41	

〈総務課〉

■水道施設状況 (平成14年3月末現在)

区分	施設数	給水量			
		給水量	給水人口	1日1人	年間総使用量
上水道		1,027	3,063人	246ℓ	279,510ℓ
簡易水道	16	1,026	3,264	200	250,817
専用水道	6	187	705	200	54,174
小規模水道	35	516	1,480	200	113,726

〈上下水道課〉

教育

■小・中学校の状況 (平成14年5月1日現在)

名称	学区	学区別	児童数	児童数	1学級当り児童数	校地面積 (m ²)	校舎面積 (m ²)	
留頭小学校			10	21	223	22.3	11,392	3,429
山形小学校			6	13	91	15.1	9,750	1,982
那岐小学校			6	16	62	10.3	8,095	2,057
土師小学校			5	14	63	12.6	9,456	1,798
富沢小学校			6	12	54	9.0	5,878	1,515
山郷小学校			4	11	45	11.2	6,215	1,807
小計			37	87	538	14.5	50,786	12,588
留頭中学校			10	29	309	30.9	21,219	5,546
合計			47	116	847	18.0	72,005	18,133

〈教育委員会：学校基本調査〉

■小学校別児童数・学級数 (平成14年5月1日現在)

学校名	学級数	児童数						心身障害児	計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年		
留頭小学校	2	1	1	1	1	1	2	10	
山形小学校	13	10	16	16	14	22	(3)	91	
那岐小学校	1	1	1	1	1	1		6	
土師小学校	13	10	4	11	13	12		62	
富沢小学校	1	1	1	1	1	1		6	
山郷小学校	7	9	3	11	7	8		45	
計	67	5	5	5	5	7	3	37	
		67	70	85	92	110	6	535	

注) ※は複式学級

〈教育委員会：学校基本調査〉

■小学校年度別児童数・学級数 (平成14年5月1日現在)

年度	学校数	学級数	教員数	学級数						
				総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
10	6	43	92	946	94	109	102	110	111	120
11	6	41	83	921	93	96	109	101	111	111
12	6	39	86	598	83	92	95	110	98	110
13	6	37	83	542	69	83	91	95	108	96
14	6	47	87	538	87	70	85	92	94	110

〈教育委員会：学校基本調査〉

■中学校年度別生徒数・学級数 (平成14年5月1日現在)

年度	学校数	学級数	生徒数	学級数		
				1年	2年	3年
10	11	27	369	110	126	133
11	11	30	360	121	111	128
12	9	25	333	107	117	109
13	9	27	330	106	107	117
14	10	29	309	96	106	107

〈教育委員会：学校基本調査〉

《智頭町総合ビジョン》

■財力力指数

種別	年度	8	9	10	11	12
財力力指数(3カ年平均)		0.242	0.240	0.233	0.230	0.226
標準財力力規模		3,393,612	3,270,510	3,399,402	3,456,203	3,512,991

(単位:千円)

■一般会計決算状況

(歳入額) (単位:円)

区分	平成9年度		平成10年度		平成11年度		平成12年度		平成13年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
町税	739,196,450	13.32	770,116,936	12.74	730,722,091	12.11	765,114,461	11.48	748,384,149	11.41
地方譲与税	83,429,000	1.50	51,570,968	0.85	34,231,000	0.57	35,429,000	0.53	35,442,000	0.56
利子割交付金	14,002,000	0.25	11,067,000	0.18	8,548,000	0.14	9,107,000	0.14	38,950,000	0.59
地方消費税交付金			23,269,000	0.38	96,327,000	1.60	90,774,000	1.38	93,812,000	1.43
自動車税交付金	28,316,000	0.51	24,252,000	0.40	21,341,000	0.35	20,625,000	0.31	20,580,000	0.31
地方債交付金							19,750,000	0.30	28,453,000	0.43
地方交付税	2,768,988,000	49.89	2,620,203,000	43.33	2,794,515,000	48.30	2,924,200,000	43.88	2,929,925,000	44.68
雑収入	986,000	0.02	1,243,000	0.02	1,228,000	0.02	1,110,000	0.02	899,000	0.01
分限債及び債権	137,063,062	2.47	137,422,791	2.27	132,662,951	2.20	224,832,239	3.37	75,374,021	1.15
雑収入	21,191,100	0.38	37,812,134	0.62	37,259,074	0.62	39,956,121	0.60	36,551,178	0.56
国庫支出金	396,824,728	7.15	459,844,964	7.77	371,908,188	6.16	349,366,892	5.24	235,760,418	3.59
県支出金	360,260,143	6.49	554,652,775	9.17	531,140,596	8.80	660,133,700	9.91	578,581,413	8.82
財源収入	18,988,813	0.34	16,764,836	0.28	26,756,752	0.44	91,405,683	1.37	15,516,932	0.24
寄付金	5,692,000	0.10	1,502,500	0.02	4,157,068	0.07	28,385,242	0.40	5,095,000	0.08
雑入金	79,848,704	1.44	15,945,080	0.26	54,573,254	0.90	50,375,969	0.76	106,481,354	1.62
投融資	117,746,668	2.12	126,744,132	2.10	103,723,304	1.72	175,491,084	2.63	255,841,114	3.90
雑収入	136,366,577	2.46	479,938,969	7.94	419,157,928	6.94	518,691,938	7.78	344,082,735	5.25
町債	641,300,000	11.55	704,800,000	11.66	667,200,000	11.05	660,900,000	9.92	1,007,600,000	15.36
合計	5,550,186,245	100	6,046,947,985	100	6,035,473,214	100	6,663,678,319	100	6,558,119,314	100

(歳入額) (単位:円)

区分	平成9年度		平成10年度		平成11年度		平成12年度		平成13年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
旅会費	109,314,528	2.02	101,300,351	1.70	103,613,527	1.77	104,510,545	1.63	101,839,233	1.59
総務費	600,110,098	11.07	561,058,790	9.44	568,785,504	9.71	755,823,061	11.80	692,940,512	13.92
民生費	1,155,842,423	21.31	1,423,387,137	23.95	1,206,658,507	20.59	1,290,889,877	20.15	1,182,525,107	18.44
衛生費	523,554,272	9.65	901,237,931	15.16	856,099,094	14.61	931,995,419	14.54	770,176,436	12.01
労働費	12,175,180	0.22	12,075,320	0.20	194,330	0.00	223,330	0.00	205,850	0.00
農村水産費	854,980,791	15.76	1,002,419,140	16.87	925,792,519	15.80	1,098,628,479	17.15	795,098,971	12.40
商工費	91,326,284	1.68	74,139,207	1.25	75,878,986	1.29	81,369,271	1.27	89,175,501	1.38
土木費	506,315,423	9.34	355,773,806	5.99	389,291,712	6.64	378,858,377	5.91	430,285,402	6.71
消防費	153,720,169	2.83	190,477,688	3.20	234,047,570	3.99	233,288,525	3.64	181,199,391	2.83
教育費	930,027,172	17.15	786,154,068	13.40	773,500,829	13.20	727,062,650	11.35	1,294,224,002	20.18
災害復旧費	2,743,772	0.05	11,591,188	0.20	148,701,271	2.54	143,499,782	2.24	53,628,571	0.84
公債費	483,114,003	8.91	513,610,155	8.64	677,418,481	9.65	595,118,487	9.29	616,267,314	9.61
繰出金	0	0.00	0	0.00	0	0.00	66,569,312	1.04	5,271,235	0.08
予備費	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合計	5,423,444,113	100	5,943,224,681	100	5,859,982,130	100	6,407,837,205	100	6,412,837,515	100

■町税の推移

(単位:千円)

年度	区分	課税額	収入済額	収入未済額	徴収率(%)
9		727,141	720,881	6,260	99.1
10		686,361	680,959	6,002	99.1
11		720,356	712,183	8,173	98.9
12		704,269	695,153	9,117	98.7
13		697,258	689,087	8,171	98.8

■税目別町税収入の推移

(単位:千円)

年度	区分	課税額					間接税	計
		個人	法人	固定資産	交付金	特別土地		
9		300,940	48,315	360,302	8,155	15,959	0	770,117
10		225,564	65,237	377,018	8,434	16,239	0	730,722
11		234,310	84,150	379,177	8,434	16,895	0	755,114
12		236,457	74,101	359,865	8,588	17,493	0	748,384
13		224,564	79,485	370,938	8,572	17,973	0	741,344

【理念】

『**杉(サン)・トピア・杉源境**』
 住む人を選びはれるまちづくり
 生活の質を高めるまちづくり
 官民等の協働的実践によるまちづくり
 地域経営による経済振興等のまちづくり
 多様なライフスタイルの創出
 内部と外部の人の現場を介した実践
 新しい価値と付加価値を生み出す

【方針】

《**生活・自治**》
 『日本・10村おとし運動』
 ーマイ・ステージづくりー
 生活・自治による町民一人ひとりの自立と共有を促し、自らの住む地域の「誇り・生きがい」をひきだす

《**交流・情報**》
 『智頭ネットワーク運動』
 ーユア・ステージづくりー
 開かれた地域による交流・情報を手段として、「杉のまち」から「杉文化のネットワーク」をつくる

《**環境・文化**》
 『森林ルネッサンス運動』
 ーフォレスト・ステージづくりー
 地域経営による環境・文化を保全・創造し「一部活用」によって「経済振興」等をはかり「魅力」と活力をひきだす

【考え方】

1. 智頭人づくり
未来に挑戦する自立・共有した智頭人づくり
2. 生活環境づくり
町民が快適・安全・安心できる生活環境づくり
3. 健康福祉づくり
町民一人ひとりに密着した保健・福祉・医療・健康づくり
4. 交流観光づくり
環境・文化(特に自然・歴史文化)の活用による交流観光づくり
5. 情報・通信づくり
開かれた情報・通信の受発信・共有・ネットワークづくり
6. 協働的実践づくり
行政・町民・民間等のメリットを活かした協働的実践づくり
7. 特産物・地域産業づくり
地域資源の活用による特産物と地域産業づくり
8. 地域デザインづくり
智頭杉などの木にこだわる地域のデザインづくり
9. 環境・文化づくり
多様な価値をとらえた森・川・海等を基盤にした環境・文化づくり

まちごとの環境と文化を保存・保全し、人・金・情報等を支えるシステムをいかにつくるか